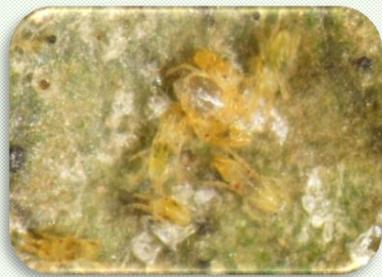


## ナシのハダニ類やナシヒメシンクイの防除対策

茨城県病害虫防除所（病害虫発生予報9月号）によると、ハダニ類の発生はやや多い～多い、ナシヒメシンクイの発生はやや多くなると予想しています。ハダニ類が発生するとナシの葉が退色褐変し、ひどくなると早期落葉します。またナシヒメシンクイの幼虫はナシの果実を食害するので被害が発生します。どちらも防除適期を逃さず農薬散布を実施してください。



ナミハダニ成虫



ハダニ類被害葉



ナシヒメシンクイ成虫



ナシヒメシンクイ幼虫が排出した糞

（写真：病害虫防除所）

### 防除のポイント

SSによる薬剤散布にあたっては、10aあたり250ℓ+補正散布50ℓを目安に十分な薬量で、かけむらの無いよう園内を縦横に走行して丁寧に散布してください。なお、圃場の周縁部など薬液のかかりにくい部分に対しては、手散布等により補正散布を行うことが重要です。また、**薬剤散布の際は、収穫前日数等に十分注意してください。**



#### ＜ハダニ類＞

- ①ハダニ類は増殖が速いので、発生が少ないうちに防除を徹底する。
- ②薬剤抵抗性の発達を抑えるため、IRACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。

#### ＜ナシヒメシンクイ＞

- ①被害果を見つけた場合は、速やかに処分し成虫の発生を防ぐ。
- ②早生品種（「幸水」等）で被害が認められた場合は、中生～晩生品種（「豊水」や「新高」等）で被害が多くなる傾向があるので注意する。
- ③薬剤散布の時期（病害虫防除所 予測）については、右記の表を参考にする。

表 調査圃場におけるナシヒメシンクイ第四世代幼虫の予測防除適期

地点	第四世代幼虫の予測防除適期 <sup>1)</sup>		
笠間市	8月10日	～	8月14日
小美玉市	8月9日	～	8月13日
かすみがうら市	8月9日	～	8月13日
土浦市	8月5日	～	8月9日
筑西市(下館地区)	8月5日	～	8月9日
筑西市(関城地区)	8月5日	～	8月9日

1) 第二世代成虫の誘殺最盛期を基に予測した(7月28日現在)。

表1 ハダニ類、ナシヒメシンクイ防除薬剤一覧

(令和7年8月7日現在)

防除薬剤	ハダニ類	シンクイムシ類	希釈倍数	使用時期/回数	分類
コテツフロアブル	●※1		2,000～3,000倍	収穫前日まで/3回以内	13
スターマイトフロアブル	●		2,000倍	収穫前日まで/1回	25A
ダニオーテフロアブル ※2	●		2,000倍	収穫前日まで/1回	33
ダニゲッターフロアブル	●		2,000倍	収穫前日まで/1回	23
ダニコングフロアブル	●		2,000倍	収穫前日まで/1回	25B
アディオン乳剤		●	2,000～3,000倍	収穫前日まで/2回以内	3A
スカウトフロアブル		●	2,000倍	収穫前日まで/5回以内	3A
スタークル顆粒水溶剤		●	2,000倍	収穫前日まで/3回以内	4A
ディアナWDG		●	5,000～10,000倍	収穫前日まで/2回以内	5
ロディー水和剤		●	1,000～1,500倍	収穫前日まで/2回以内	3A

注) 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

※1 カンザワハダニ、ナミハダニ、ニセナシサビダニ

※2 本剤は銅を含む製剤と混用及び近接散布で防除効果が低下するおそれがあるため、メーカーの指示に従う。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用してください。
- 営農 News はJA全農いばらきホームページでもご覧になれます。